

会派代表質問

創 政

森 建二 議員



庁舎改築を機にデジタル化を進め、市民も職員も快適な市役所の実現へ

この9月1日「デジタル庁」が発足しました。目的は住民の利便性を向上させ業務の効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていく事だそう。つまりデジタル変革(DX)は手段であって目的ではないという事です。

先日、DXで注目を集める福島県磐梯町の最高デジタル責任者にお話を伺いました。磐梯町の自治体DX、定義は「行政や市民等がデジタル技術も活用して、市民本意の行政・地域・社会等を構築するプロセスである」との事。究極の目的は、住民目線、住民本意、そして職員本意の行政を創っていく。住民にはもちろん職員にとってもメリットがあるという考えだそう。今、人・物・金

が小さくなる中、仕事は増え続ける。やはり進めるべき道であると再認識したところ。自治体DXについて 役所内において、誰一人取り残さず全庁的なマネジメント体制が必要だと思われ。組織としての対応、意識の共有、現在の考えを聞かせて下さい。

昨年12月、自治体DX推進計画が策定され、自治体はデジタル技術やデータを活用して市民の利便性を向上させ、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの向上につなげていく事が求められています。市ではこれを受け、本年4月に自治体の情報システムの標準化や行政手続のオンライン化など、自治体DXの推進を含め、行財政改革と情報管理を一体的に推進するため、情報政策業務改革推進班を総務課に設置しました。全職員がDX推進の必要性、重

要性など、基礎的な共通理解を形成し、一体となって取り組んでいくと共に、限られた予算の中で多くの業務に係る取組を短期間で行う必要がある事から、全庁的、横断的な推進体制の整備のため職員が相互に協力しながら取り組んで参ります。

問 なかなか進まないテレワークの導入については。

答 新型コロナウイルス感染症対策を背景に、自治体DX推進計画では重点取組事項の1つとして活用が推進されています。ただ課題や不安も多く、情報セキュリティの確保、導入コスト、窓口業務や相談業務などテレワークになじまないもの、労務管理の方法など検討が必要となり、本市におきましても導入が進まない要因となっています。今後は手引きや他自治体の導入状況等を参考にし、検証を進め課題を整理し、庁内における推進体制の構築や環境整備等を踏まえ検討して参ります。

国はDX推進予算として市町村向けに多額の予算を計上しています。現在、私も大網白里市では、市庁舎の改築を検討中です。庁舎内のICT化によってDXを大きく推進する、大きなチャンスだと思います。ぜひ補助や助成、国や県の動向を確認し、庁舎改築にはDX推進研究を重ねて頂きたいと思っております。また外部人材の活用にも特別交付税の措置が既に準備されています。検討下さい。

問 本市は、大網白里市通学路交通安全プログラム及び登下校防犯プランに基づき、毎年通学路の定期合同点検を実施しています。八街市の事故を受け、県教育委員会から一斉点検の実施要請があり、本年度は市内3中学校区全てで東金警察署、千葉県山武土木事務所、本市小・中学校校長会などと緊急一斉点検を実施しました。危険箇所は全体で26件。対応として交安協会や学校職員、PTAによる定期的な見守り活動や、路面標示や白線標示の設置及び引き直し、一時停止及び横断歩道の設置などの対応を行って頂いております。

また見通しの悪い箇所は地権者に樹木の剪定や除草をして頂いたり、道路管理者にカーブミラーの設置や角度の調整をして頂いたりしています。未来を担う子どもたちの安全です。学校だけに任せるわけには行かない。PTAや地元の自治会、交通安全協会等、地域との連携も密にして頂きますよう重ねてお願いいたします。

※その他、○GIGAスクールの推進、○台風等自然災害への備え、○新型コロナウイルス感染症対策について、問い質しました。

関連質問

山下豊昭 議員



問 自然災害対策について伺う。本市は災害に強いまちづくりを掲げています。一昨年の台風被害が忘れられないが今年も八月八日の台風10号の折、市内各地で浸水冠水被害が発生し、小中川沿いの大竹地区も同様に冠水、併せて同日山辺、大網、瑞穂の三地区に避難指示が発令されたが、その中において安全対策の現状と特に大網駅前冠水対策の本年度現状の対応状況をお示しください。

答 二級河川小中川について、管理者千葉県において河道部の草刈りを行い、併せて河道内堆積土撤去等適

切な河川維持に努めました。次に大網駅周辺の排水対策について日常的維持管理が重要と認識、加えて河道拡幅の改修工事が必要であり、金谷川の整備と併せて小中川の整備促進を図るよう県と連携し推進いたします。

問 小中川改修継続と大網駅前改修の早期実施をお願いして、次に、千葉県と大網白里市の連携について伺う。県は令和元年の災害後に被災者のニーズに迅速に対応するため、地域実情に精通した市町村と一体となり、危機管理体制の強化を図り災害対応力の向上を図ると明言して、本市でも今年7月白里海岸の津波対策の陸間門事業、小中川改修等は認識してありますが、県道83号線季美の森入口の斜面崩落現場は、令和元年台風被害発生より丸々2年経過しており、多くの市民よりいつになつたら修復されるのか、通学路でもあり不安視されている、ここで伺います。県への補修要請現状を説明願います。

答 千葉県山武土木事務所を確認したところ、令和2年度に調査・設計を実施し今年度中の着手に向け準備しているところです。市としても早期の復旧を願う市民の皆様へ周知すべく早期着手を県に要請いたします。

問 コロナ対策について伺う。夏休み中の八月後半に地域の小学校を訪問した際に、感染者急増中において学内予防対策の取組をお聞きしたところ、以下の答

①リモート始業式に向け準備中。
②少人数の低学年生の分散給食等、感染予防対策の強化を実施する予定。ここで本市の感染対策を伺います。

答 緊急事態宣言発令を受け二度の対策本部会議を行い、公民館や屋内、屋外施設の利用停止、更に防災無線やHPを活用し、外出移動の自粛等を市民の皆様にお願いたしました。最後に申し上げますが、今暫く感染予防対策継続の程、御身ご自愛の上お願い申し上げます。

個人質問

蛭田公二郎 議員



① コロナ対策とワクチン接種 ② 通学路の安全対策について

① コロナ対策とワクチン接種 市長に伺います。自宅療養を極力避けるため、千葉県や近隣自治体、山武市町会、それから、山武医師会なども協力・相談しながら、臨時医療施設を早期に開設をし、また、宿泊療養施設、特にホテルの確保に努めていただきたいがどうか。

答 県内感染者の宿泊施設への入所調整等においては現在千葉県が行っており、本市が独自で行うのは大変難しいものがございます。

問 千葉県内で、現在コロナ患者を受け入れているホテルは何か所か。

答 千葉県内の受入れホテル数は、現在6か所です。千葉県内の8月末の自宅療養者は1万人以上。ホテルの療養者は、8月末で390人位。市民の命を守るために、市長は県と一緒にホテル療養確保に頑張っていたきたい。

「危険箇所」のうち半分も通学路の変更が必要だとされたのは、それだけ危険な箇所が市内の通学路にあるということ。

問 30キロ規制や「ハンブ」、「グリーンベルト」などについて、積極的に学校周辺に設置して頂きたい。

答 危険箇所の対応策について、警察署や道路管理者など、関係機関にお願いしてまいります。8月26日、国土交通省と警察庁が合同で大プランを立てました。通学路など生活道路の安全を確保するため、路面を隆起させるハンブなど、車の減速を促す物理的なハード対策と最高速度を時速30キロに制限するゾーン30の交通規制を組み合わせた新たな施策を始めると発表しました。ハンブやグリーンベルトなどを設置するように強力に働きかけて頂きたい。

問 通学路の整備をしたくてもできない財政事情がある。そういう中で通学路整備のための財政支援を国や県に緊急に求めるべきだと思いが、市長の見解を伺います。

答 交通安全対策特別交付金につきましては、交通反則金を原資として国から交付配分されており、この交付金の増額要求というものは、この性質上、困難であるというふうに考えております。交付金にかかわらず、国や県などに財政支援を求めて頂きたい。同時に、市の交通安全のための予算措置が重要。市の交通安全対策施設整備予算は、平成26年に800万円だったものが、今年度は400万円と数年の間に半減している。来年度は、交通安全対策予算をシッカリ組んで頂きたい。